



ここでは キューブ状の同じユニットの繰り返しをランダムさをあわせもつことで、秩序と乱雑さの同居を試みた。それぞれのキューブが付かず離れずの距離を保っている。まるでどの部屋も魅力的な角部屋の様相を呈している。自然光にあふれ、キューブの間の隙間にサッシを取付、光や風を取り入れる。隣り世帯への遮音や、下階への遮音を十分配慮し、プライバシーを確保した。また、キューブを無秩序に配置しつつも、共用部分の廊下や階段は囲まれたキューブの中に配置したため、路地のような街並みを形成し、個々のプライバシーと街のもつ多様で予測不可能な豊かさの感覚を両立するよう計画した。

街のような住まい、住まいのような街。

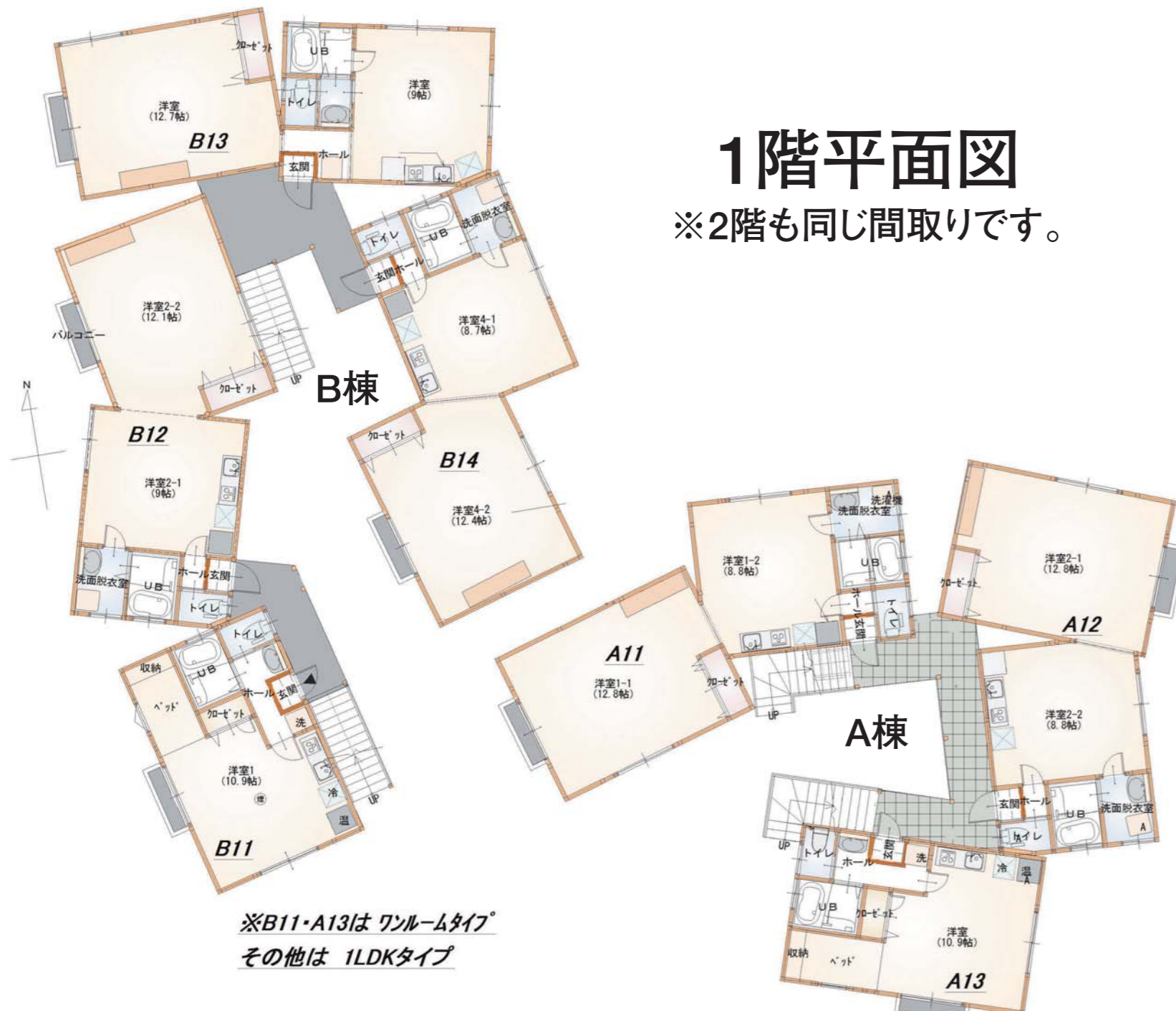


キューブをランダムに配置。家のもつ身体的な落ち着き感と街のもつ多様で予測不可能な豊かさの感覚が両立。

この集合住宅の計画は、家であり同時に街であるような場所だと言えないだろうか。家のもつ身体的な落ち着き感と、街の持つ多様で予測不可能な豊かさの感覚が両立する。様々な不確実性を受け入れる都市的な性格と、常に居心地の良い居場所を見つけられるような家的な性格を合わせ持つことで、この複雑な現代にふさわしい公共空間が生まれる

白いキューブ(カレ・ド・ブラン)の無秩序な配置

無秩序な箱の配置で、防音効果が高くプライバシーを確保し、光も入り、すべての部屋が角部屋のようなです。



木造2階建て、ストロングフレーム高強度金物在来工法、亜鉛メッキ鋼板葺き、1階面積 272.50㎡、2階面積 315.22㎡、延べ床面積587.72㎡



光を取り入れ、風を取り入れる無秩序住宅配置。



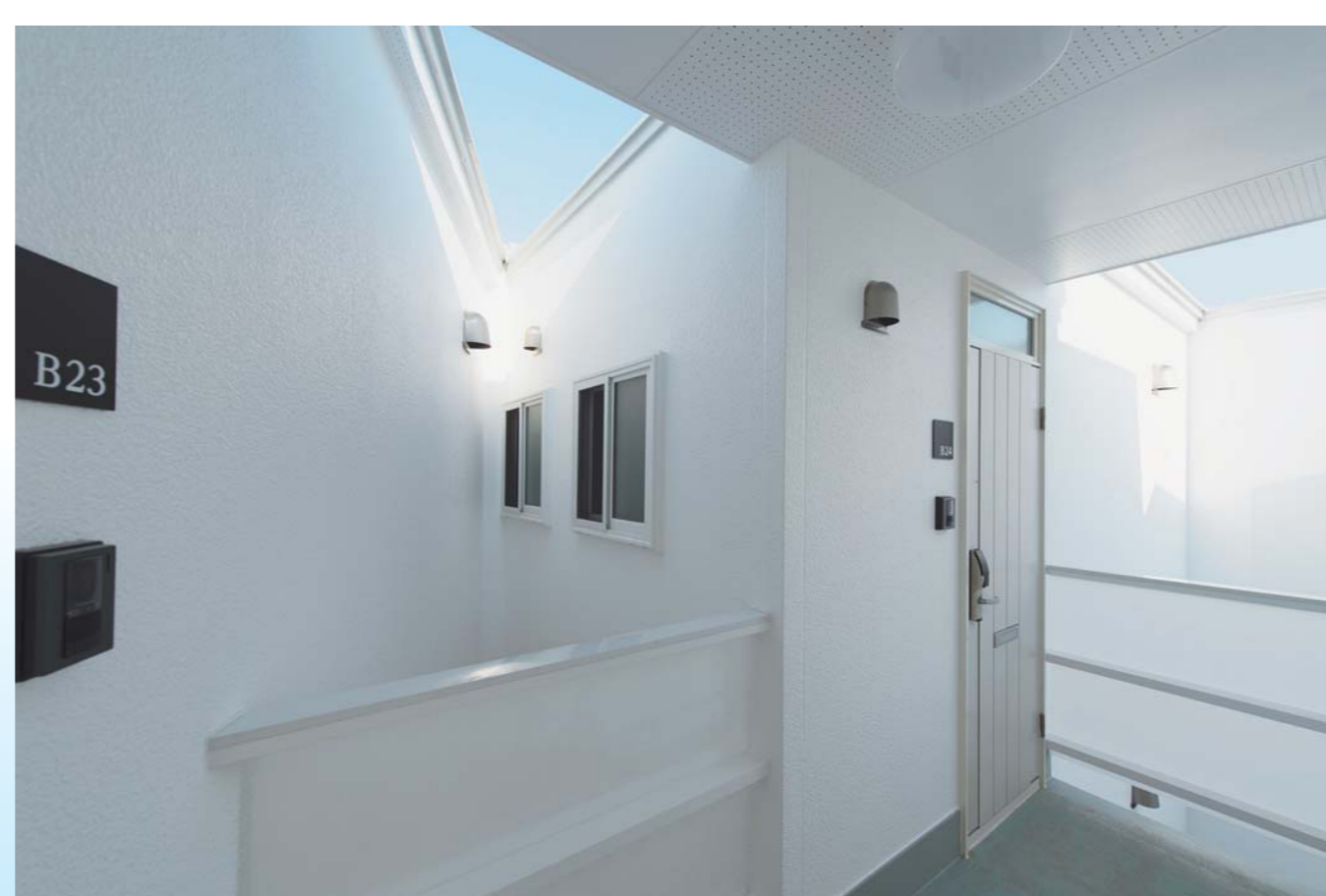
ランダムに配置することによって、路地のような街並みができる。



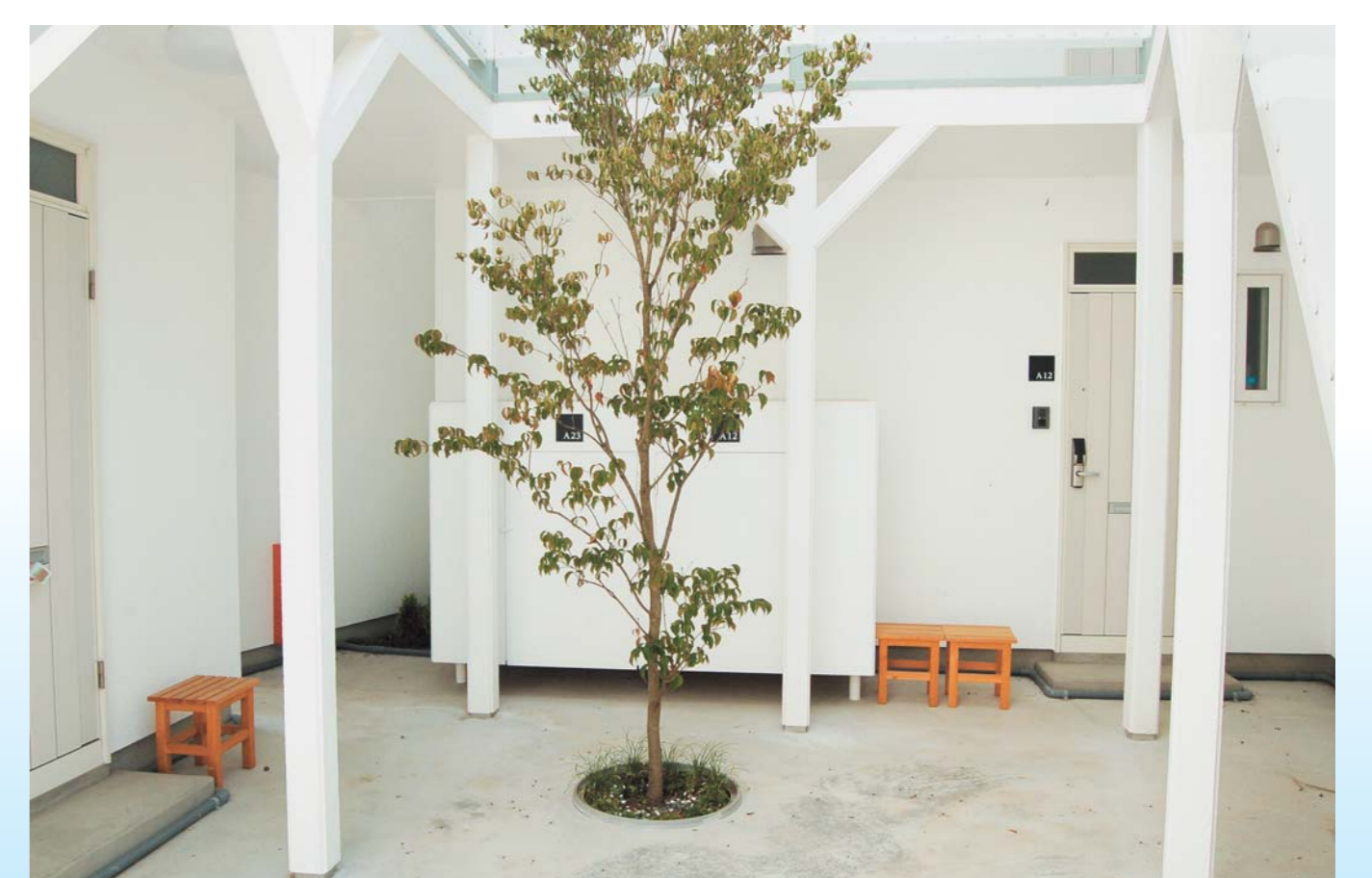
隣りの世帯から離れた壁のため、プライバシーの確保ができる。と同時に、路地のような豊かな空間ができている。



すべての部屋が角部屋のため、光あふれる明るい室内。床は防音のため5重張り施工。



キューブどうしのすきまが、光を取り入れ、風を取り入れ、プライバシーを確保する。



キューブで囲まれているため、街のような共用部分ができる。各所にベンチを配置して、コミュニケーションを楽しむ。共同で住むことの豊かさを追求。